

■■認定校だより【千葉職業能力開発短期大学校】■■



<千葉職業能力開発短期大学校の概要>

千葉職業能力開発短期大学校は、「職業能力開発促進法」に基づき、国（厚生労働省所管）により設置された2年制の工科系短期大学校です。キャンパスは2カ所あり、千葉キャンパスは、住居環境科、電気エネルギー制御科、電子情報技術科、メカトロニクス技術科の4科、成田キャンパスは、生産技術科、航空整備科の2科を擁しています。

各科の定員は10～30名です。作業の流れを理解するための実習と、原理や原則を理解するための実験をバランスよく配置し、単なる机上での学習にとどまることのない、実践的な教育プログラムを組んでいます。機器類は、実際の企業でも使われている最新の設備を導入しており、即戦力となる人材の育成に努めています。

<住居環境科について>

教育目標として、次の3項目を掲げています。

1. 生活空間と人間、社会、自然との係わり方について理解
2. 生活空間の環境創出、生産システムや自然現象に対する安全性に関する知識及び技能・技術を習得
3. 生活空間の創造及び生産分野での管理・運用等に携わることのできる実践技術者の育成

この教育目標を達成するため、実習を多く取り入れたカリキュラムを採用しています。計画系では、建築設計実習は基より、インテリア設計、造形実習、環境実験、製図やCAD実習等（図1）を行います。構造系では、構造設計、材料実験などを行います。施工系では、木造の継手・仕口の加工から建方までを行います（図2、図3）。

学生生活の総仕上げとなる総合制作実習では、各指導教官のもと様々な課題やテーマに取り組みます（図4、図5）。今年は、鉄筋コンクリート造の階段の制作を行っている3人組のグループをご紹介します（図6）。

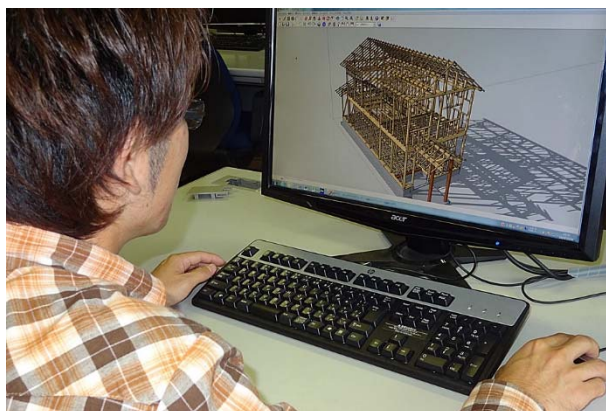


図1 在来軸組構法の理解



図2 継手・仕口の墨付け



図3 建方実習（上棟式）



図4 総合制作実習での意見交換



図5 設計と模型製作



図6 R C造の階段を製作中

<積算・コスト教育の取り組み>

住居環境科では、「仕様及び積算」「仕様及び積算演習」それぞれ2単位の授業を行っています。講師は、建設会社に勤務した経験のある教員が、伝統的に担当しています。公益社団法人日本建築積算協会様からも、実務に携わっておられる先生をお招きし、最前線の「生」の情報をご講義いただいております。

授業は、2年生の前期に開講されていますが、施工に関する授業も同時期に進行しています。従って、鉄筋の施工管理や納まりを理解した後、すぐに拾い方を教えるという順序になります。施工と積算の両面から理解できるというメリットはありますが、授業の順番が逆にならないように、段取りを上手に組まなければならないという難しさもあります。

今年度は、前任者と交替し、筆者が積算の授業を担当しました。積算士補の結果は芳しいものではありませんでした。今年度の反省をもとに、来年度は多くの学生と栄冠を勝ち取りたいものです。

<キャンパス所在地・連絡先など>

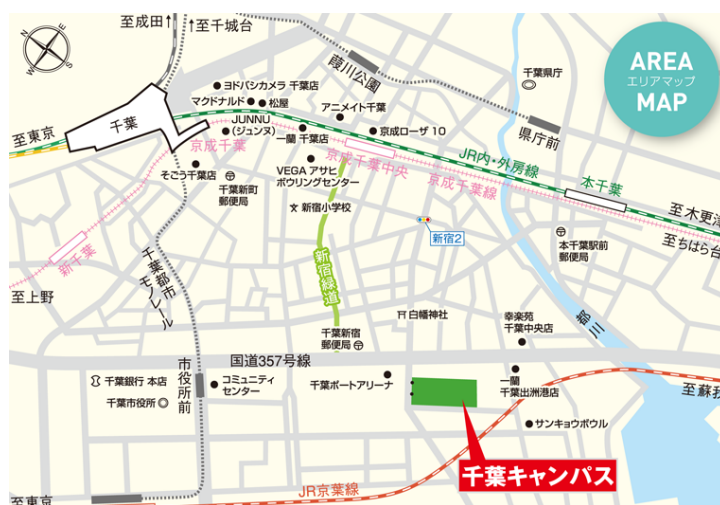
千葉職業能力開発短期大学校（千葉キャンパス）・住居環境科のHP、連絡先、アクセスなどは、下記となります。学生の教育の他にも、各種の能力開発セミナーも開催しております。スキルアップや社員教育など、企業で働く方々もお気軽にご相談ください。

URL：<https://www3.jeed.go.jp/chiba/college/>

住所：〒260-0025 千葉市中央区問屋町2-25

電話：043-242-4166（代表：学務課） F A X：043-248-5072

- JR総武本線「千葉」駅下車、徒歩20分。
- JR京葉線「千葉みなと」駅下車、徒歩18分。
- 京成千葉線「千葉中央」駅下車、徒歩10分。
- JR外房・内房線「本千葉」駅下車、徒歩12分。



文責：徳富 肇（住居環境科、教員）